

November

2007 11

あなたと人のコミュニケーション情報誌

Vol.395

夢 広がる なかしべつ



中標津に歩く道をつくる会の第1ステージを歩く
 ～中標津町交通センター～開陽台（約14・8km）（2007.10.23）

INDEX/目次

毎月19日は食育の日



中標津町農業協同組合

●農協法施行記念日にあたり（道中央会・宮田勇会長）…2

●役員研修報告（熊本編）…3

◆中標津新そば祭、ミルキーマン登場…4

◆熟年会秋期研修旅行…5

◆第8回理事会、クロスワード、読者の声…6～7

◆普及の窓～冬季の哺育牛管理の3つのポイント…8

◆家畜改良課～授精師に共通認識を持ってもらうように…9

◆農村交流施設クレエ発…10

◆掲示板…11～13

共に創る 北海道農業の 新時代



北海道農業協同組合中央会
会長

宮田 勇

昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が制定され60年目を迎えました。

制定当時は戦争の傷跡が生々しく、日本全土が荒廃する中で、国民の食料は不足し、食料確保の必要性と併せて農民の自主的立場を確立するために農村の民主化が最重要課題でありました。このような時代背景の中から農協法が誕生し、全国各地で農協

が設立され、現在に至っております。

農協は農地改革によって生まれた自作農を基本とした「農民の農民による農民のための」組織として、人々が連帯し助け合

うことを意味する「相互扶助」の精神のもとに組合員の農業経営と生活を守り、より良い地域社会を築くことを目的とした協同組織です。

農協法が制定されて以来、経済情勢や社会環境の変化に合わせて農協の事業展開や組織運営手法の変革が求められ、時代に即した法改正によって、組合員の社会的、経

済的地位の向上に大きな役割を果たして参りました。

今、私たちは21世紀の初頭を歩んでいますが、世界に目を向けますと飢餓・貧困、食料問題、地球温暖化・環境問題が深刻化し、いまだに解決の糸口を見いだせない状況にあります。国内的には市場原理の名の下に行き過ぎた競争社会のひずみが格差社会を生み、年金問題などと相まって、国民の中に不安が増大しています。

このような時代に自主・自立・相互扶助精神に基づき共生の社会をめざす協同組合組織に対する期待はますます大きくなっております。

昨年、私たちは「第25回J A北海道大会」を開催し、「共に創る北海道農業と新時代」をテーマに、組合員とともに多くの国民の信頼と支持を得て新たな時代に積極果敢に挑戦するJ Aを目指すことを決議し、実践しております。

北海道農業・J Aをめぐる状況は、今後ともW T O農業交渉など厳しい情勢が予測されますが、組合員、役員皆様が農協法の目的と意義を再確認して、J Aが地域農業・農村振興の司令塔としての役割を發揮し、充実した組織として益々発展するよう共に頑張りましょう。

J Aを 地域農業・農村振興の 司令塔に

10月17日~20日まで
九州は熊本、宮崎

今回は、熊本編

役員研修報告



10月17日~20日まで九州は熊本、宮崎で役員研修がおこなわれ、事務局職員を含め10人が参加。上村重光理事による報告を抜粋し掲載いたします。

釧路空港発→熊本空港便で、午後4時、われわれ一行を南九州の温暖な気候が歓迎してくれました。日没時間も午後6時頃と、中標津とは、一時間の差、研修中は天気も良く半袖で十分な天候に恵まれました。

18日熊本県酪連事務所にて研修。竹本指導・素畜課長により酪連組織概要及び事業について、説明を受けました。

昭和29年4月3日県酪連が設立され、昭和41年4月熊本県指定生産者団体として認可、昭和49年9月熊本工場(市乳)操業を開始、らくのう牛乳を発売。また昭和58年11月には菊池工場操業開始。らくのうLSD大阿蘇牛乳を発売しました。

熊本県は、西日本一の生乳生産を誇る。

熊本県連事務所の2本柱

1.生乳業務事業
253億3,300万円

2.指導部事業
飼養頭数48,445頭
うち成牛32,000頭

九州での熊本県酪連への生乳配分枠	
H 18	<p>252,546t (前年比96.18%)</p> <p>このうち2,500t H17~18年に規模拡大した農家へ配分 ・ 枠売買による組合間調整を4回実施 ・ 九州他県からの自主返還+177t ・ 新規就農追加枠 +450t</p>
	<p>計画目標 253,191t (前年比96.42%)</p>
	<p>実績数量 253,373t (計画対比100.07%) 酪連自社工場処理の飲用向け 30%</p>
H 19	<p>計画目標 249,572t (前年比98.5%に設定)</p> <p>乳価 90.45円 (税込み 前年比97.75%) 全国的な飲用不振、加工対策費の増</p>

技術課	指導課	購買課	素畜課
<p>①定期繁殖検診 ②診療事業 ③授精卵事業</p> <p>肉用素牛生産へ (前年比120%)</p> <p>体外授精卵 (前年比128.6%)</p>	<p>①巡回、指導、 ②牛群検定 53.16%利用 ③ヘルパー事業 農家利用減少により運営が厳しい</p>	<p>①低価格飼料開発 ②粗飼料値引対策 ③コンテナ大口利用奨励など</p> <p>↓ 前年比101.9%の売上</p>	

生産調整、穀物輸入、粗飼料値上げなど厳しさを増す中、平成19年40戸が廃業となった。

平均飼養頭数55頭であり、40頭飼養で経営が成り立つ時代から比較して明らかに厳しさが増している。

竹本課長の紹介でヤノ牧場を訪問。視察目的は、糞尿処理等。経営概要は、労働力は2。後継者0。草地約6・6ha、施設H17年築、繫牛舎トンネル換気方式、給餌は、北原多回給餌機(1日6回給餌)、パイプライン(公社事業)。

70頭搾乳、生産量650t、バンクリーナー・固液分離。糞は、畑作農家に(無償)あげている。また尿液は、乳酸系の処理剤を入れ3つの円形槽でエアレーション処理、貯留後草地6・6hに年3回散布。余れば友人の草地に散布。

ヤノ牧場では、トンネル換気方式により今年の猛暑を事故牛無しで乗り切りトンネル換気に自信を示されました。また現在の酪農経営について、搾乳と和牛繁殖60頭飼養、搾乳牛全頭に和牛受精生と凍結卵。ヤノ氏の説明によりまずと、生産調整と粗飼料高では、和牛販売を入れないと、所得確保は、むりと、将来のヤノ牧場経営は、後継者がいないのでリース牧場を計画しJA、県酪連と協議中。また農政に対して「日本酪農を守る酪農家の所得確保を対策するべきでは」と、発言され一同共感を覚えました。

『夢見そば』 中標津新そばまつり

10月21日開催



今年の4月に、農業農村交流施設で実験的に披露され、7月に町文化会館で開かれた『なまらウマイ！中標津夢見そば祭』でデビューした、牛乳入りそばの『夢見そば』にちなんだ、第1回中標津新そばまつりが10月21日、総合文化会館で開かれ、わんこ大食い、もり早食いなどのイベントと合わせて、そば愛好者が打ちたて新そばの食感を楽しみました。ささ敷学校が主催したこの催し。7月に行われたそば祭では、昨年産の高台挽きぐるみそばの在庫の関係で、中標津産のそば粉だけでは打てなかったことを踏まえ、そばの実収穫後に新そばまつりとして全量中標津産そば粉で企画されました。町内依橋高台にある上原安浩さんの圃場で実ったそばの実です。

販売提供されたメニューは、

そば知識 挽きぐるみ

3層からなる蕎麦の実の各層を取り分けずに、そのまま三番粉まで挽き込んだそば粉を「挽きぐるみ(全層粉)」といいます。昔は殻をむかずに玄ソバのまま石臼などで挽き、それから篩にかけて殻を取り除いていました。しかし、このやり方では殻を完全に除去できないため、黒く、ぼそぼそした食感のそばになってしまいます。そのため、現在「挽きぐるみ粉」と呼んでいる粉は、殻を完全に除去してから製粉しています。

それでも、甘皮まで一緒に挽き込んでいるため、色は黒っぽく野趣に富んでいます。田舎そばとも呼ばれます。そばの風味、ど越し、歯ごたえは抜群。

『夢見天そば』、『夢見もりそば』と『お土産そば』、『中標津挽きぐるみそば粉』の4つ。今回もそば打ちの様子を見学でき、有段者が手際よく打つ姿が見られました。祭として参加者が楽しめるイベントとして、わんこ大食い、もり早食い大会も行われ、イベントを盛り上げました。もり早食いでは2人前のそばを1分34秒で食べきった青柳さんが優勝。わんこ大食いでは2分何杯食べられるかを競い、優

勝者は12杯、準優勝、3位はそれぞれ一杯差という僅差で勝敗を分けました。11月18日(日)に町文化会館で行われる町内技能の日には、そば打ち体験を行えるよう予定している。初心者の方は打ちには、牛乳を使うことで切れにくく打ちやすい『夢見そば』が、より適している。ささ敷学校主催・上原芳昭(大和殿社長)として、中標津牛乳と高台挽きぐるみそばの夢見たコラボレーションによる地産地消の流れを大きなものにしていきます。



ミルクラーメン

乾麺

販売開始!

中標津を代表する特産を育てようと中標津町観光協会(板野哲身会長)が、このほどミルクラーメンを乾麺として販売開始しました。昨年11月3日から12月20日まで牛乳消費拡大応援戦の第2弾として、「なかしべつミルクラーメン大作戦」と銘打って中標津町内11の飲食店がそれぞれ趣向をこらしたミルクラーメンを発表。現在でも根強いファンも多い。今回の即席ラーメン発表は、町内からの土産として乳製品を使った日持ちのする特産品を作りたいという思惑と牛乳の消費拡大の一ツのアイテムとして機能させたい考え。

町商工観光課の西村謙課



長は「9月30日に行った町商工会主催の祭イベントで販売開始し、200食を販売した。おすすめしたい食べ方は、サツパリ食べられるよう、炒めたモヤシを入れる程度のほうが良い。当面3,000食の販売を目標に、新しい中標津の特産として、お土産品などに利用してもらいたい」と話している。

製麺業者サツポ口麵匠により道産小麦と脱脂粉乳が練りこまれた麺とベル食品によるとんこつ風味の塩味スープに全粉乳が使われている。牛乳といえれば白というイメージを損なわないよう、とんこつ風味の塩味ベースとし、1食あたり80cc相当の牛乳が使われている計算になる。

包装箱に2食入り・750円。中標津空港、町内宿泊施設、JA中標津青年部などでも取り扱う。

J A中標津 熟年会秋期研修旅行

夕張・札幌・旭岳・旭山動物園・
サロマ湖サンゴ草群生地旅行記

熟年会主催の秋期研修旅行が10月8日～11日（3泊4日）の日程で28人の参加により行われました。

1日目

服部一好氏を団長にJ A中標津前をバスで出発。

少々小雨が降る中でしたが、阿寒湖を過ぎた辺りから青空が見え始め、気温も暖かくなり旅日和となりました。

午後2時半夕張に到着し早速、「めろん城」を見学、見学者もまばらでしたが、操業再開に向けて準備がされていきました。その後、ぐ



るり夕張内を見学、一部閉鎖している施設があり、遊園地も休業状態でしたが、「石炭博物館」・「北の零年

「石炭博物館」・「映画博物館」等を見学して、リゾートホテルで一日の疲れを癒しました。

2日目

午前8時に昨日見学できなかった「幸福の黄色いハンカチ」映画ロケ施設を見て夕張を離れました。バスは一路由仁町に移動し「ゆにガーデン」を見学、花類は終盤を迎えていましたが、ヨーロッパ風の庭園・施設内はハーブの香りでいっぱい。中で買い物など楽しんでいました。

札幌へ移動し、「サツパロファクトリー」でのショッピングは、若者向けの商品が多く目の保養になったようです。札幌を後にして田園風景を見ながら宿泊先の「北の京芦別」へと向い、温泉で疲れを癒し、会食時には歌謡ショーを楽しんだ一日でした。

3日目

早い出発でしたが、「旭岳ロープウェイでの登山」を楽しみにバスはホテルを出発。途中の山々は真っ赤

に染まった紅葉が私たちを迎えてくれましたが、小雨が風景を引き立たせてくれていました。百人乗りのロープウェイで山頂駅まで十分。待ちかまえていたのは一面の雪でした。秋と冬を体験した後は、「旭山動物園」へ直行。新しく出来たオランウータンの館は、見学者も多く、園内全体も観光客でにぎわっていました。最後の宿泊地となる温根湯温泉へは、午後4時頃到着して、ゆっくり温泉に入り疲れを癒した後は、会食・カラオケによるお楽しみ、今回もラジオアナウンサーも勤める添乗員の佐藤絵美さんが司会をしてくださり、会を盛り上げてくれました。



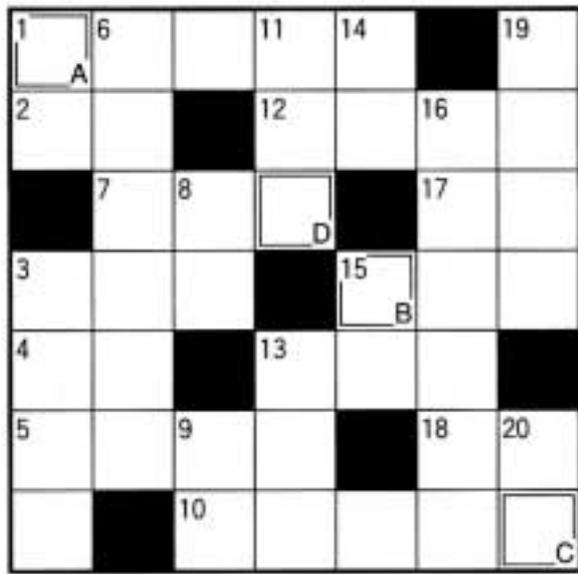
4日目

最終日となり、ホテルを朝9時出発し、「能取湖のサンゴ草群」へと向かいました。定期的に少々遅い事もあり九割以上が茶色に枯れていたのが残念。わずかに真っ赤なサンゴ草を見るだけででした。最後の見学を終えて、午後3時には中標津に到着、旅の疲れを見せず元気に旅を終えました。



クロスワード

出題 / ニコリ



10月号クロスワードの解答 『キンモクセイ』

11月号の抽選者は、購買部生活店舗の櫻坂理恵です。「購買部店舗課レジ係の櫻坂理恵です。10月にあるの内装が変わり、より買い物がしやすくなりました。



いつも楽しく笑顔でレジ打ちしていますので気軽にお声をかけて下さい。当選された方々おめでとうございませう」

今回、当選されたのは、水本和子さん（依橋）、藤井直雄美さん（俣落）、弾正原真由美さん（第2俣落）の3名です。おめでとうございます。

同封の回答用紙に答えや一言コメント（必須）などを記入の上、事務所備え付けの箱または、ファクスでご応募下さい。

読者の声

まだ野生のクマに出合ったことはありません。先日、車で走行中にあちこちで日付入りのクマ出没の看板を見て、『紅葉は例年になく鮮やかできれい...』と走っていたのに、何だかハンドルをにぎる手が少し汗ばんできました。PN/もうすぐ赤いベストさん

表紙の写真にもありますが、牧場や農道を歩く道の充実と歩く文化の形成に向けた取り組みの1つとして、10月23日に中標津交通センターから開

第7回 理事会

開催月日 平成19年11月1日
開催場所 農協中会議室

- 決議事項**
- 1 平成19年度9月末予算統制計画について
 - 2 職員組合からの要求（平成19年度賃上げ）について
 - 3 平成19年度税制改正に伴う減価償却会計方針の変更について
 - 4 平成20年度営農計画書作成要領について
 - 5 各種資金の借入申込みについて
 - 6 理事に対する貸出金の承認について
 - 7 畜産環境整備リース事業の追加実施について
 - 8 新規就農者の営農計画書認定について
 - 9 JA中標津肉牛生産センター今後の運営について
 - 10 肉牛センターラゲーン設置について
- 報告事項**
- 1 平成19年度9月末金融・共済事業概要について
 - 2 平成19年度9月末購買事業概要について
 - 3 平成19年度9月末購買事業概要について
 - 4 平成19年度9月末酪農ヘルパー稼働状況について
 - 5 平成19年度9月末農業・農村交流施設稼働状況について
 - 6 平成19年度9月末家畜人工授精進捗状況について
 - 7 平成19年度大根・ブロッコリー・白菜出荷状況について
 - 8 組合員の加入状況について
 - 9 北海道ホルスタインナショナルショウの結果について
 - 10 第3期ルーキーズカレッジ視察研修について
 - 11 生乳生産状況と乳質について
 - 12 乳製品工場の進捗状況について
 - 13 畜舎環境衛生改善調査結果について
 - 14 澁源馬鈴薯出荷状況並びに第2次出荷契約数について
 - 15 品目横断サポート資金の執行状況について
 - 16 販売事業の進捗状況について
 - 17 購買未収金の回収状況について
 - 18 「JA夏まつり2007」収支実績報告について

二重マスの文字を、A～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

タテノカギ

- ①食べ物を載せるほか、描かれた図柄を楽しむためのものもあります
- ③稲の苗を育てる所
- ⑥遊園地の乗り物の一つ ゆっくり1周して戻ってきます
- ⑧米やごまなど丸くて小さいもの
- ⑨髪を整える道具
- ⑪外国の貨幣、通貨
- ⑬ナポレオンのものには不可能という文字はなかった？
- ⑭確—— 百分——
- ⑮——務 ——用 ——事
- ⑯仕事の用事で遠方へ出掛けること
- ⑰部長は課長の——、課長は係長の——
- ⑳10の100倍 100の10倍

ヨコノカギ

- ①小学校の鉄棒で、できるとうれしい技
- ②華やかな雰囲気のものが多い観賞植物
- ③南に位置する地域
- ④自分のことを、こう言う男性もいます
- ⑤飯や汁物を盛る道具
- ⑦落ちること ——物 ——傘
- ⑩負けた！ ——に見放されましたね
- ⑫親と——に幼稚園へ通う子ども
- ⑬実際に起こった場所や現場 ——検証
- ⑮週刊誌、月刊誌のほか季刊誌、旬刊誌などもあります
- ⑰——人 親—— 悪——
- ⑱落語や講談などを演じてみせる所

☹️ 中腰からの体勢変化の時に一番ギクギクしやすいです。お風呂での洗髪

寒くなりましたね。先日、気合をいれて「寒くなる前にアレもコレもして」と思い冷凍庫の霜とりをしていたらグキツと腰が「アアア、やつてしまった」ギクキリ腰。寝ると寝返りもできず、起きるときもどうしていいやら…。座ると立ち上がるのにひと苦勞…。なんとか2日目から動けるようになりました。焦らず、じっくり、ゆっくり仕事はしなくて、いけませんネ（泣）PN/まだまだ現役さん

陽台までの14・8kmを歩く体験会が行われ、ランチ（牧場）ウエイを歩かせてもらう機会がありました。農家の方々の理解とご好意で歩かせていただいた所有地。せつかくの機会なので試みに歩いてみようと思いつて参加。草木が生い茂った中を歩く途中で、「自分ひとりではさすがに歩けない場所だなあ。数人で歩くと言つてもちよつと度胸がいるよな？」と野生のクマに会ったらどうしようという思いを巡らせながら一歩一歩進んでいきました。風は強かったです。晴れて、普段見られることの無い角度から中標津の自然を再認識。開陽台付近の傾斜で脚が悲鳴をあげはじめましたが何とか踏破。心地よい疲労と達成感が得られ、この瞬間のために参加する人も多いのもわかつたような気がしました。

☺️

親子農業体験事業にて…。子どもは臭い臭いといって牧場内を見学したりしていました。親はどう思っただらうか？私たちが視察に行った先で、「やっぱり臭い物は臭い」と思っちゃったりもします。同席する青年部員からも「臭いな」という声が漏れたりもします。道徳「正直に言うことはいいこと」、「人が傷つくことを言わない」自分の中でどっちの道徳が優先するのかということなんでしょう。さわやかな汗とそつでない汗。自分の信念によって良いことをしている時の汗は尊いと思います。

やひよいと重石を持った時のひよいの瞬間など何の気なしに腰を戻すときにやっってしまうのですよね。背を戻しながら立ち上がることをせずに、気をつけて腰を縦にしてから立ち上がるようにするだけで、だいぶ違います。

昔、旅先でキンモクセイの香を体験したことがありました。北海道にはない香だと思いましたが。現代の子どもたちはにおいにとっても敏感で、すぐくさいとか言いますね。人が生活していくうえで無臭ではいられないのに…。確かに汗のにおいはくさいですけれど生きていく証であり、尊いと思います。

PN/いたらない妻さん

e-Taxが更に簡単便利に！

平成19年分の所得税の確定申告でe-Taxをご利用される方々は、所得税の額から最高5,000円の控除を受けることができるようになりました。また、給与所得・退職所得等の源泉徴収票等の添付書類が本人等の保存を条件に提出が省略できるなど、更にe-Taxが便利に利用できます。是非、この機会にe-Taxにチャレンジしてください。

詳しくは、根室税務署TEL (0153) 23-3261にお尋ねください。

根室農業改良普及センター 北根室支所

冬季 哺育牛管理の 3つの ポイント

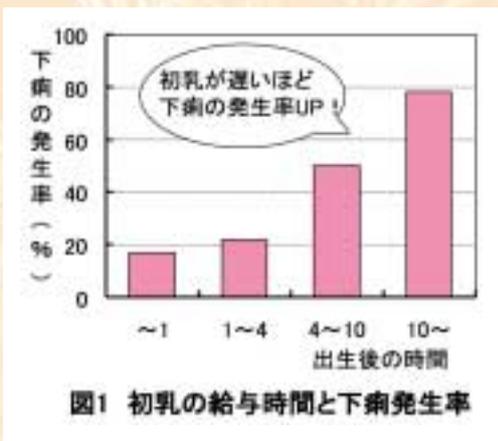
子牛が風邪や下痢をおこすと成長が遅れ、管理作業も大きな負担になります。冬に向けて哺育管理のポイントをまとめました。

1. 分娩後は速やかに清潔で乾燥した場所に移す

生まれたばかりの子牛は免疫を持たないので、病原菌のない清潔な環境に置く必要があります。また皮下脂肪がほとんどなく、腹部の褐色脂肪細胞を燃焼させて体温を維持します。風通しが良い、敷料が湿っているなど、体温が奪われる環境にいますと、この褐色脂肪細胞を消耗し（約18時間）、低体温になり下痢を起こし、死亡することがあります。羊水を拭き（親牛がなめる時はまかせる）、すきま風の当たらない乾燥した場所に速やかに移しましょう。

2. できるだけ早い時期に十分な量の初乳を与える

下痢予防には、速やかに十分な初乳を与えることが重要です（図1）。初乳中の免疫量および子牛の免疫吸収率は、時間の経過とともに低下します（図2）。また病原菌が初乳より先に入ると、腸管の穴を塞いでしまい、免疫を吸収できなくなります。



十分な免疫獲得のためには、

①比重計を使って免疫グロブリン量を把握し、必要量を与える

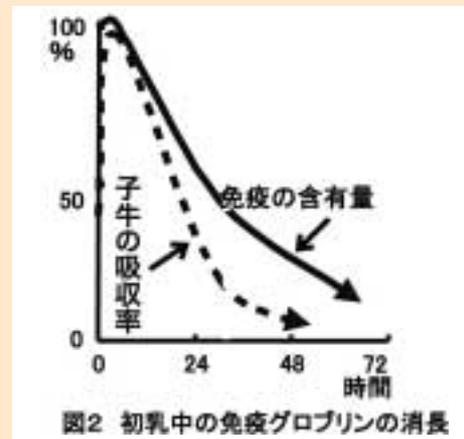
初乳の比重1.05の場合、生後6時間以内に2リットル以上、生後12時間以内にさらに2リットル飲ませる必要があります。

初乳中の免疫グロブリン量には個体差があり、特

に分娩前に漏乳した牛、乳量の多い牛、初産牛では低い傾向にあります。免疫グロブリン量の計測方法は普及センターまでお問い合わせ下さい。

②冷凍初乳を常備する

初乳の成分が低い、または品質が劣る場合の代替えとして重要です。



3. 換気をし、十分な敷料を入れて保温・清潔を保つ

ふん尿から発生するアンモニアガスは、少量でも気管や鼻の粘膜を刺激し、肺炎や風邪をおこしやすくなります。換気に気をつけ、同時に保温のため十分な敷料を入れましょう（左写真）。また汚れたらすぐ交換し、体毛や敷料を乾いた状態に保ちましょう。



十分に敷料が入り乾燥した状態

私たち授精師に個体の情報を教えて下さい。

今年の夏は、異例な暑さとなり、ウシも畜主もダメージを受けたのではないのでしょうか。

さて、近年は農場の大規模化などにより、1年を通して多忙となり人工授精時に畜主が立ち会えない事があるようです。授精師を信用してもらえるのは大変喜ばしいことですが、まかせっきりで良い繁殖成績は望めません。

繁殖成績の向上に必要なことは、まず「発情発見」です。発情兆候の微弱化や短時間化などが問題視されていますが、きちんとした発情兆候を表しているウシを見逃さないことが第一です。そして授精師にどのような兆候だったのかを伝えてください。「兆候ないけど万歩計が反応してた」「昨晚はうるさかったけど、今朝は…」などでも十分です。次に、「授精師の技術や知識」なども、もちろん必要です。

最後に「畜主と授精師が繁殖に関して共通の知識や情報を持つこと」です。「このウシはどうして10日くらい様子を見るのか」「発情がこないのにPGを打てないって？」などなど、疑問があれば担当授精師などに尋ねてください。

この、「適切な発情発見」と「授精師の技術」そして「共通の情報認識」によってまだまだ繁殖成績は改善できます。

今月はその「情報」のひとつとして、「排卵確認」と「授精から1回目の周期」について書いてみます。明日からの繁殖に役立てていただければ幸いです。

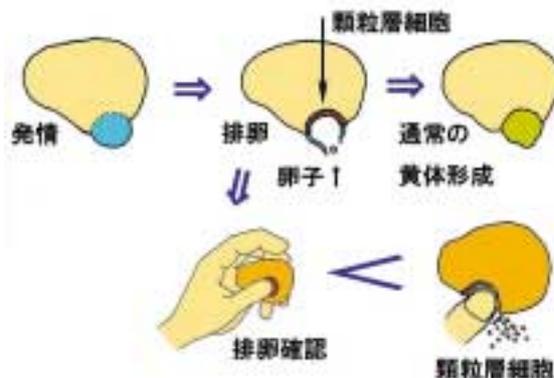


「昨日人工して、今日は兆候ないけど一応排卵確認して」

前日に発情兆候があって、人工授精したウシ。今日は兆候ないけど、不安だから一応排卵確認をする。そんなことはありませんか？卵巣内で排卵があると、排卵した場所に残っている顆粒層細胞とういものが黄体を作っていきます。

絶対！というわけではないのですがこの顆粒層細胞を、排卵確認時の触診によって剥がしてしまうことがあるようです。

排卵確認には十分な注意を払っていますが、必要以上の排卵確認は避けたほうが良いようです。



排卵確認が必要な場合

- ①PGを使用した兆候が見られない場合
- ②前回見逃した発情からの周期などで兆候がない場合
- ③何度も授精をしていて、排卵確認後に何らかの治療をしたい場合などです。

「強い兆候ないけど、前回の人工から周期だから診て」

この触診、特にリピートブリーダー（授精を3回以上しても受胎しないウシ）で多いようです。

実は、前回の授精で受精卵ができて、それが成長を続けている場合、21日目前後は重要な時期なのです。受精卵は徐々に大きくなって、20日目から30日目で着床し始めます。着床するかしないかの状態の子宮を触ることで、人為的な流産を引き起こさないと限りません。

前述の排卵確認時の触診と同様十分に注意していますが、必要以上の触診は避けましょう。

繁殖は長期戦です。280日後のために明日も頑張りましょう。

人工に相談だ。

農村施設発 農業交流フェス

9/26

フレッシュユミズによる「ブ
手収穫祭」が行われ、部員
7人が参加しました。

食欲の秋本番、①新じゃ
がを味わい②女性部のイベ
ントメニューを知り③美味
しい、いもだんごの作り方
を学びながら④楽しい時間
を過ごし気分転換をする事
を目的として行われた「ブ
手収穫祭」です。

先輩女性部員の藤田登美
子さんに、美味しい、いも
だんごの作り方やコツを教
えていただきました。今年
の伯爵まつりでは、伯爵
100kg分のいもだんごを
作りました。今回は、伯爵
まつりの5分の1の量で行
いました。しかし、家庭の
何倍もの量で作るので、皮
をむいても、むいても皮む

きは終わりません。家
庭では、火の通ったじ
やがいもに、適量ので
んぶんを入れ手ごねす
る部員が多く、餅つき
器を使った方法は初め
ての体験だったようです。出
来あがったいもだんごを女性
部イベントと同様に調理し試
食しました。



10/5

睦町内会女性部部員12人
参加のもと料理教室が行われ
ました。
今回の料理教室は、睦町内
会女性部活動として、牛乳・
乳製品を使った料理教室を突

施したいという申し出をきつ
かけに実施しました。
当農協食品加工交流部会よ
り3人が講師を務め、牛乳を
上手に食べてもらうレシピを
いくつか紹介しました。
水の変わりに牛乳を入れて
ご飯を炊く「枝豆と青じその
混ぜご飯」。牛乳は、味噌や
昆布だしと相性が良いので
「ミルク味噌汁」と「昆布だ
しミルク煮」。豆腐の変わり
に牛乳豆腐を使って「白和
え」と「サクサク揚げ」。牛
乳をふんだんに使った5品を
作り、試食会を兼ねた昼食会
を行いました。



生産者として、地域産業を
消費者に理解してもらう貴重
な機会となりました。



10/13/27

中標津東小学校5年3組が
10月13日に同3年1組が27日
にそれぞれの学級行事として
「加工体験」を行ない、講師
として食品加工交流部会が指
導。町内消費者など様々な方
との交流や農畜産物への理解
を深めてもらう場として加工
体験を受け入れました。

2回あわせて、食品加工交
流部会・片岡なみ子さんをは
じめ5人が講師を務め、道産
の小麦粉や中標津牛乳をふん
だんに使ったパン生地、ソー
ーセージパンとハムチーズパ
ン、自由創作でクマや魚の形

のパンを作りました。
児童の皆さんには、ソーセ
ージにパン生地を巻き付ける
成形作業などを体験してもら
いました。

仕上げ発酵中には、あらか
じめ作っておいた中標津牛乳
とフレッシュクリームをたっ
ぷり使ったアイスクリームを
食べながら、パンが膨らむま
で休憩。

いよいよパンを焼き上げま
す。オーブンの中で美味しそ
うに焼けているパンの様子を
見て興奮。焼きたてのパンを
見てまた興奮。自分のパンを
見つけて大興奮。焼きたての
パンを早速試し、大満足の様
子でした。

今回の体験を通して、食べ
ることの大切さや手作りの楽
しさを感じてくれたのではな
いでしょうか。



みんなの 掲示板

新着情報については、公式HP
<http://www.ja-nakashibetsu.or.jp>



に随時掲載中！
 皆さまからの情報提供は、

こちらへ **72-3721**

e-mail: info@ja-nakashibetsu.or.jp

9月27日から29日まで、地区女性協議会幹部視察研修があり、長正路八世榮部長から報告をいただいていますので紹介いたします。
 今年は道庁で農政部との懇談会と雪印乳業資料館の視察がメインでした。道庁

地区女性協議会 幹部研修

スローフードによる
食の意識づけを再認識



では、スローフードについてお話を聞き、懇談しました。スローフードという言葉は良く聞かれるものとなりましたが、何？と聞かれるとあまり分からない言葉ではありませんか？
 スローフード運動はイタリアのブラという町で始まったもので、きっかけは米国ハンバーガーショップのローマ出店計画に危惧をいだいた住民の運動だったそうです。
 地域の質の良い食材や生活食文化を大切にしようという動きで、味の均一化を図り、世界の食文化を圧倒的に支配した、ファーストフードに対してゆっくり作られた食材を丁寧に調理してゆっくり味わ

うスローフード運動の始まりだったそうです。
 害虫も少なく、病気も発生しにくく、安全で安心な食物がいつばいとれる北海道に住む私たちも地の利を生かしてスローフード運動を進めていかなければならないと改めて感じました。雪印乳業資料館では古い輸送缶やバター製造機などの展示やバターのクリームなどの乳製品のなつかしいパッケージを見て、長い歴史を感じました。

酪農実習生交流会

10/12

ゆめの森公園

中標津町農協酪農実習生受入協議会（長正路清会長）は、10月12日、道立ゆめの森公園で酪農実習生交流会を開きました。
 今回は春の交流会では雨で中止となったパークゴルフに再挑戦し、パークキューによる交流を図りました。出身地や受入先も異なり、自らさまざまな思いを持って酪農実習を続ける参加者にとって、フレッシュと情報交換の場に

なったのではないかと思います。



釧路で愛食フェアを 視察し情報を集める

10/20

食品加工交流部会

10月20日、当農協食品加工交流部会の視察研修が、11人の参加にて行われました。釧路市・別保公園を会場として行われた「北のめぐみ愛食フェア」へ行きました。生産者が、産地や食材の情報を提供しながら、消費者に販売する週末型の産直市で、昨年より全道各都市で開催されているものです。



チーズとソーセージ 加工を体験

10/23

女性部 フレッシュユミズ

10月23日、中標津町畜産食品加工研修センターにて、加工体験が行われ、フレッシュユミズ部員7人が参加しました。



近年恒例になつてゐる研修センターでの加工体験。今年、ソーセージとチーズ作りを行いました。

初めに、ソーセージ作り。センター職員・熊谷氏の指導のもと、豚肉のかたまりを適当な大きさに切り、機械に入れてミンチ状にして、それを羊の腸に専用の機械で詰める作業を行いました。腸に詰めていく作業が難しいです。指先の力加減と注入スピードの調整が微妙で、勢いがありすぎると腸が破れます。逆に弱すぎるとパリッとしたあの食感にならないのです。力加減に苦労しながら全員が携わりました。この作業と平行して、ソーセージを適当な長さに区切ってねじる成形作業を行って約2時間の燻煙。連なっ



ているソーセージをカットして、水を切つて完成しました。ソーセージを薫製している間に、チーズを作りました。生乳の殺菌やカッティング作業など途中の作業は、センター側で行うので、途中の攪拌と成形作業を行いました。チーズらしくなつてきたかたまりを熱湯につけやわらかくしたところで表面がツヤツヤになるように練る。この作業を数回繰り返して、少しずつ引つ張りながら伸ばすとストリングチーズ。伸ばさずに指でくびれを作りちぎり取るとモツアレチーズのできあがり。作業の間には部員同士の交流を図り楽しい時間を過ごすことができました。

青年部は10月23日、設置場所に豊岡の(有)アウルサークルさんとステッカー製作に(株)クレアさんの協力・ご好意を得て消費者に向けてロールパックにメッセージを描き、真剣に伝えたいことを表現しました。

10/23

青年部
メッセージ

ロールパックに
誇りと意気込み！

青年部は10月23日、設置場所に豊岡の(有)アウルサークルさんとステッカー製作に(株)クレアさんの協力・ご好意を得て消費者に向けてロールパックにメッセージを描き、真剣に伝えたいことを表現しました。

青年部は10月23日、設置場所に豊岡の(有)アウルサークルさんとステッカー製作に(株)クレアさんの協力・ご好意を得て消費者に向けてロールパックにメッセージを描き、真剣に伝えたいことを表現しました。



国道272号線沿い

列島を震撼させています。「有名なあの会社もか!」、偽装という言葉が流行語になつてしまふくらい、連日メディアで踊つています。食品業界だけでなく建設資材や工法などにも及び、安心・安全という基本であり究極の部分への企業責任が希薄になつていく証拠なのでしょうか? 儲けのために、ないがしろにしてはいけません。

私たち生産者が自ら厳しい自主検査や管理基準を作つて守つても、食品加工業界や外食産業業界での偽装が発覚してその業種・業界全体が悪くなることだけは避けなければならぬです。酪農家だけでなく畑作農家を擁する当農

協青年部としては、根室管内の他の青年部単組の牛乳消費拡大メッセージと異なり、畑・酪・畜産生産者の代表的な声として『安心!安全!届け隊!JA中標津青年部』というキャッチフレーズに誇りを持つて生産を続けていく意気込みを表しました。

10/23

ルーキーズカレッジ

4期生開講

JA中標津担い手創出協議会のルーキーズカレッジ4期生開校式が10月23日に開かれ、講師を務めていただく農業関係者や受講する後継者・新規就農予定者たち30余人が参加し、酪農家に求められる技術や知識を得るための学びが開始されました。



4期生は農業後継者5人と新規就農を目指す実習生やヘルパー6人で2年間のカリキュラムを受講します。また、3期生による海外視察研修はヨーロッパ方面へ11月11日から出発します。海外酪農情勢の研修報告会が楽しみです。

10/25

女性部
コース別教室

内容選択制の
手作り教室開催

10月25日、農協中会議室にて、女性部コース別教室が行われ、部員16人が参加しました。

「とうもろこし人形コース」と「ビーズ手芸コース」で行いました。

とうもろこし人形は、長正路部長を含め3人の部員の指導のもと、乾燥させたとうもろこしの皮でティッシュペーパーを包んで顔、ワイヤーに皮を巻きつけて腕、さらに巻きつけた折り返したりして袖や肩、胴体を作ります。とうもろこしのヒゲを髪の毛になるよう付けていきます。さらにスカートになる皮を巻き



つけ、ドライフラワーで小さな花束を持たせてできあがり帽子をかぶせたり、ドライフラワーを帽子やスカートに付けたら、首を傾げるなどし個性あふれる可愛らしいお人形ができあがりました。

ビーズ手芸は、名越副部長の指導のもと、家の光手芸教室のページに掲載されていた「天然石とビーズのネックレス」を作りました。小さなビーズを扱い、細かい作業で大変というイメージがあるようですが、今回は編んだりする工程がなかった分スムーズに進みました。できあがったネックレスに全員満足でした。一人ではやらないことが、仲間が集まって過ごす楽しい時間である。これって素敵なことですよ。

家庭介護の要点を 実地研修

10/26

根室管内 家庭介護教室

10月26日、根室農業会館にて、JA北海道健康福祉対策協議会・中央会・厚生連主催「家庭介護教室」が行われ、根室管内農業女性約30人が参加しました。

介護保険法改正の見直し後、家庭介護および地域ボランティア活動などに活用可能な介護技術や理論などに関する研修として行われました。全道各地区で、組合員の家庭介護に対する支援を目的で実施されています。



11/1

根釧農試 酪農セミナー

「負荷ミニマム」を
意識し持続可能な経営を

11月1日、根釧農業試験館
中標津町総合文化会館

場主催の酪農フォーラムが開かれました。第19回目となった今回は、「草地帯だからこそひらける酪農のこれから」と題して行われ、農水省生産局畜産部畜産振興課草地整備推進室 浅沼課長補佐より「飼料をめぐる情勢と今後の展望」について、北海道地域農業研究所の黒澤不二男常務理事により「北海道酪農の進路と地域のあり方」と題した内容が講演されました。根釧地域の農業者やJA職員含め、250人ほどが参加し、激変する酪農情勢への対応策をねる意味でも、示される方向性に注目が向けられました。

根釧農業試験場の三木直倫研究部長が座長となった総合討論では、黒澤氏から提起された「負荷ミニマム」という経営のキーワードについて、「生産性の追及、生産することで環境に対する負荷が多



かかっていく、地球温暖化に起因する水位上昇や海岸線の侵食、異常気象、気候帯の変化による生態系の影響・感染症の増加、食糧生産に対する不安定感など現実起こってきていることが明らかになってきた。これらが過度な生産性の追及がもたらしたことであるとの認識を持って農業経営に従事することが重要であり、「放牧」について勧められる方向性もある。

しかし、一方で実際に生活していくために必要な収益額は経営個々で違うため、経営のバランスを図るための営農方法を自ら選択していく必要がある」と締めた。

牛のお肉が食卓に 運ばれるまでを授業

11/1

まるごと！ 中標津給食

11月1日、中標津町地産地消推進協議会が企画する学校給食「まるごと！中標津給食」の今年、2回目の提供が行われ町内小中学校の全児童が「中標津ビーフ」などの食材を使った給食を味わいました。

今回は、「中標津で育った牛がお肉になって、私たちの口に入るまで」を町4Hクラブの櫻坂直俊会長と会員、会

員が扮した「うし」さんで、中標津小学校4年生にわかりやすく説明しました。

なかしべつで生産されている食材の中から、中標津ビーフ、中標津ゴータチーズ、中標津牛乳、中標津産白菜を使って、中標津ビーフ牛丼と白菜のおかかあえなどを提供。

「今日の牛丼に使う肉は、牛のどの部分のお肉ですか」というクイズには、多くの児童が正解し、説明者が逆に感心する姿もありました。子どもたちが学んでわかったこととおいしい牛丼に温食の缶もかっらっぽになるほどの人気！

次回、町内東小学校での授業で、中標津町内で生産されている一連の食べ物の大まかな説明ができるようになりま



